

## Ⅱ 集計結果

### 1. 幸福感

**問1-1** 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけ○で囲んでください。  
(○は1つだけ)

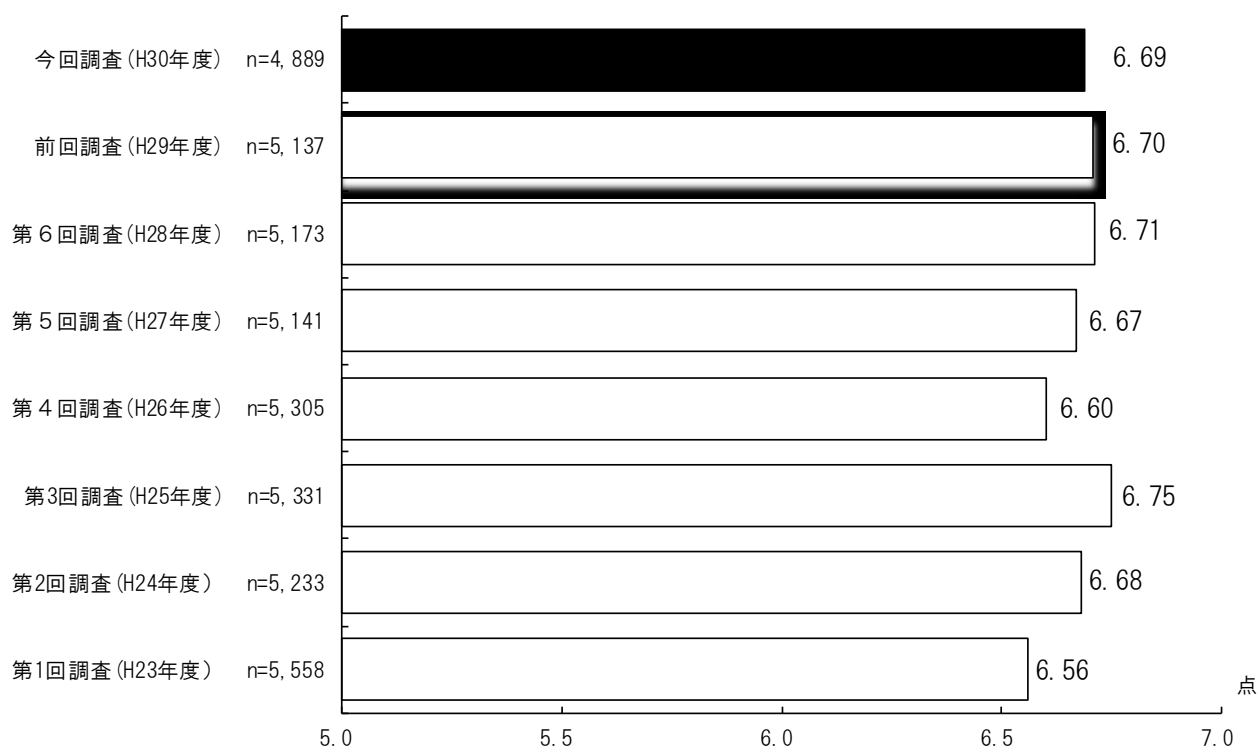
#### ➤ 日ごろ感じている幸福感

県民の皆さんが日ごろ感じている幸福感（以下「幸福感」と記載）について10点満点で質問したところ、平均値は6.69点で、前回調査より0.01点低くなり、第1回調査より0.13点高くなっています。

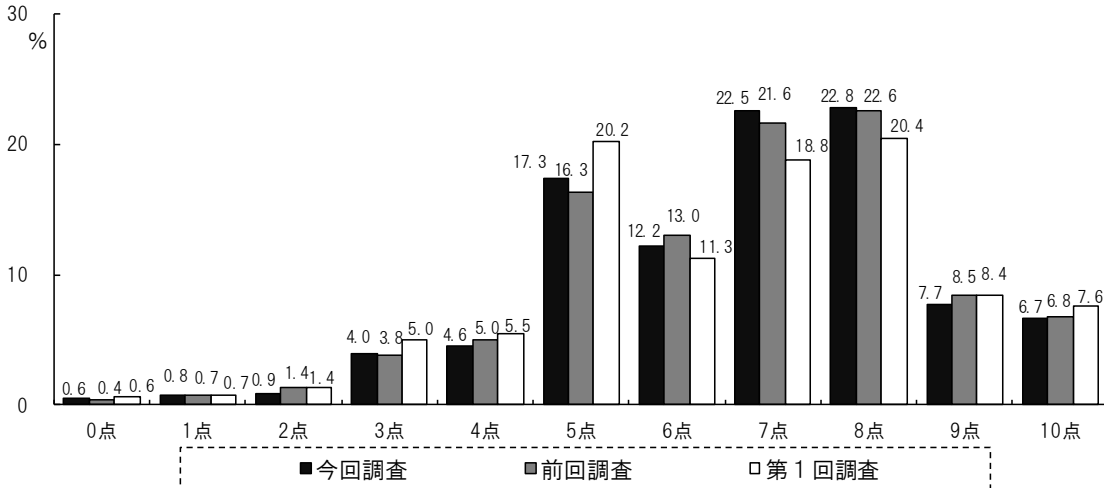
点数の分布をみると、「8点」の割合が22.8%と最も高く、次いで「7点」が22.5%、「5点」が17.3%となっており、M字型となっています。

前回調査と比べると、「5点」の割合が1.0ポイント、「7点」の割合が0.9ポイント高く、「9点」、「6点」の割合が0.8ポイント低くなっています。第1回調査と比べると、「7点」の割合が3.7ポイント高く、「5点」が2.9ポイント低くなっています。

図表 2-1-1 日ごろ感じている幸福感の平均値



図表 2-1-2 日ごろ感じている幸福感的分布



➤ 日ごろ感じている幸福感（属性別特徴）

地域別で幸福感平均値を見ると、北勢が 6.78 点で最も高く、次いで中南勢 6.66 点、伊賀 6.62 点の順となっています。前回調査と比較すると、伊賀で 0.09 点、伊勢志摩で 0.03 点高く、東紀州で 0.06 点、中南勢で 0.03 点、北勢 0.02 点それぞれ低くなっています。

性別で幸福感平均値を見ると、女性が 6.85 点で男性の 6.58 点より 0.27 点高くなっています。前回調査と比較すると、男性は 0.07 点高く、女性は 0.06 点低くなっています。第 1 回調査と比較すると、男性は 0.26 点、女性は 0.05 点それぞれ高くなっています。

年齢別で幸福感平均値を見ると、30 歳代が 6.86 点と最も高く、次いで 40～60 歳代が 6.71 点となっています。前回調査と比較すると、50 歳代で 0.05 点、60 歳代で 0.01 点それぞれ高くなっています。第 1 回調査と比較すると、比較できる全ての年齢階級で高くなっています。

主な職業別で幸福感平均値を見ると、学生が 7.25 点で最も高く、次いで、専業主婦・主夫、正規職員の順となっています。前回調査と比較すると、農林水産業で 0.29 点、専業主婦・主夫で 0.12 点、無職で 0.09 点、正規職員で 0.05 点それぞれ高くなっています。第 1 回調査と比較すると、その他の職業を除く全ての職業で高くなっています。

配偶関係別で幸福感平均値を見ると、有配偶が 6.90 点で最も高く、次いで離別・死別が 6.27 点、未婚が 5.91 点となっています。前回調査と比較すると、離別・死別で 0.10 点、有配偶で 0.02 点それぞれ高く、未婚で 0.03 点低くなっています。第 1 回調査と比較すると、全ての配偶関係で高くなっています。

世帯類型別で幸福感平均値を見ると、三世代世帯が 6.94 点で最も高く、次いで一世代世帯が 6.84 点、二世帯世帯が 6.71 点、単独世帯が 6.21 点となっています。前回調査と比較すると、単独世帯で 0.25 点、三世代世帯で 0.04 点、一世代世帯で 0.02 点それぞれ高くなっています。第 1 回調査と比較すると、全ての世帯で高くなっています。

世帯収入別では、世帯収入が高いほど幸福感平均値が高くなっています。前回調査と比較すると、100 万円未満で 0.24 点、100～200 万円未満で 0.20 点、1,000 万円以上で 0.13 点、300～400 万円未満で 0.08 点それぞれ高くなっています。

図表 2-1-3 日ごろ感じている幸福度の平均値(属性項目別)

	今回 点	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
合計	6.69	(-0.01)	<0.13>
<b>地域</b>			
北勢	6.78	(-0.02)	<0.14>
伊賀	6.62	(0.09)	<0.11>
中南勢	6.66	(-0.03)	<0.12>
伊勢志摩	6.57	(0.03)	<0.16>
東紀州	6.46	(-0.06)	<-0.01>
<b>性別</b>			
男性	6.58	(0.07)	<0.26>
女性	6.85	(-0.06)	<0.05>
<b>年齢</b>			
18歳から20歳代	6.67	(-0.14)	<->
30歳代	6.86	(-0.06)	<0.01>
40歳代	6.71	(-0.05)	<0.14>
50歳代	6.71	(0.05)	<0.21>
60歳代	6.71	(0.01)	<0.22>
70歳以上	6.64	(0.00)	<0.09>
<b>主な職業</b>			
農林水産業	6.75	(0.29)	<0.25>
自営業・自由業	6.80	(-0.10)	<0.15>
正規職員	6.85	(0.05)	<0.16>
パート・バイト・派遣	6.61	(-0.01)	<0.22>
その他の職業	6.63	(-0.11)	<-0.04>
学生	7.25	(-0.16)	<0.67>
専業主婦・主夫	7.19	(0.12)	<0.15>
無職	6.38	(0.09)	<0.15>
<b>配偶関係</b>			
未婚	5.91	(-0.03)	<0.14>
有配偶	6.90	(0.02)	<0.12>
離別・死別	6.27	(0.10)	<0.17>
<b>世帯類型</b>			
単独世帯	6.21	(0.25)	<0.22>
一世代世帯	6.84	(0.02)	<0.10>
二世帯世帯	6.71	(0.00)	<0.21>
三世帯世帯	6.94	(0.04)	<0.12>
<b>世帯収入</b>			
100万円未満	5.86	(0.24)	<->
～200万円未満	6.04	(0.20)	<->
～300万円未満	6.43	(0.03)	<->
～400万円未満	6.68	(0.08)	<->
～500万円未満	6.82	(0.02)	<->
～600万円未満	6.90	(-0.05)	<->
～800万円未満	7.04	(-0.08)	<->
～1,000万円未満	7.25	(0.04)	<->
1,000万円以上	7.54	(0.13)	<->

※年齢の18歳から20歳代については、第6回調査からの調査項目であるため、第1回調査と比較を行っていません。

※世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

**問1-2** 幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

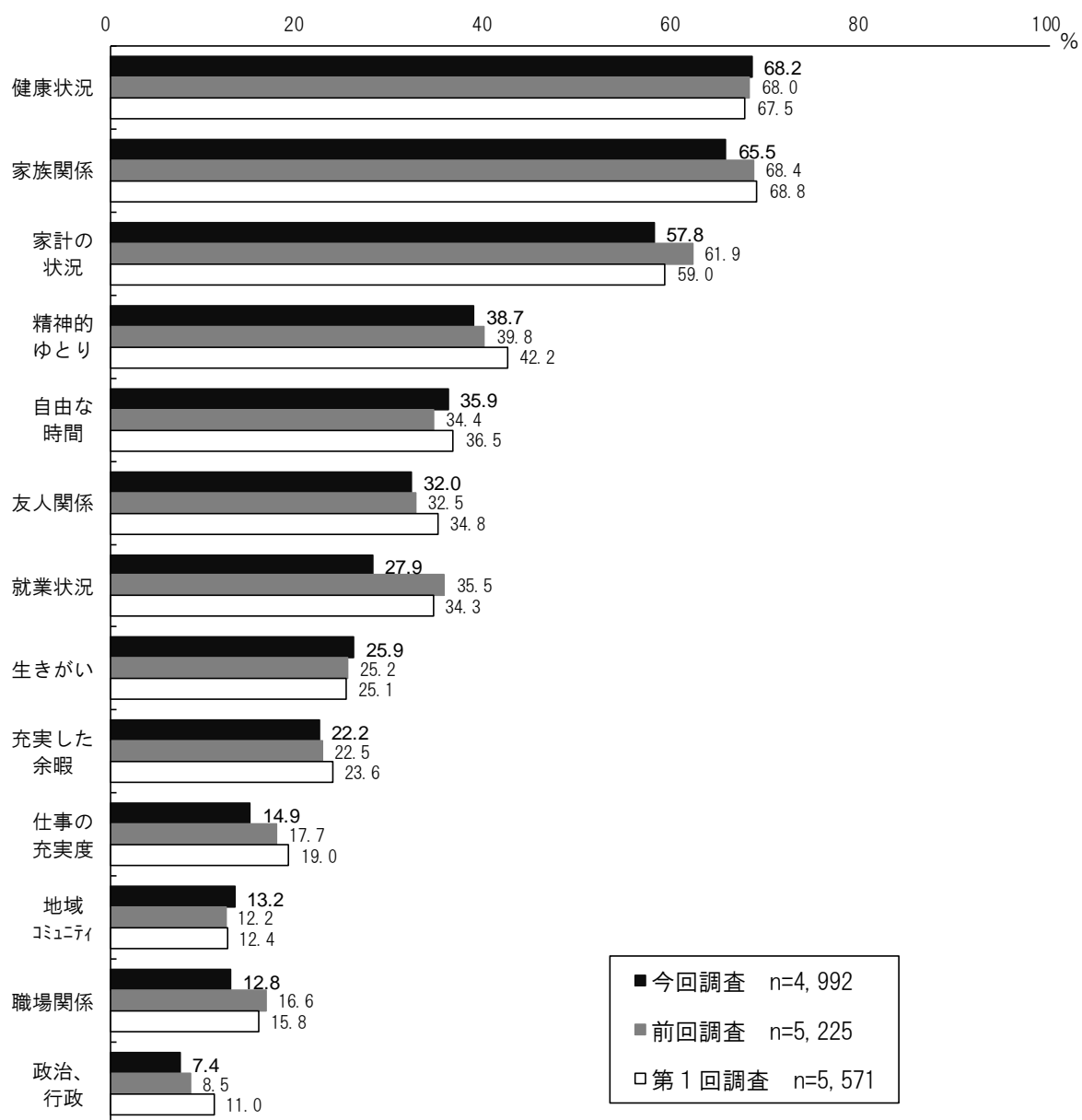
➤ 幸福感を判断する際に重視した事項

幸福感を判断する際に重視した事項は、「健康状況」の割合が68.2%で最も高く、次いで「家族関係」(65.5%)、「家計の状況」(57.8%)となっています。

割合が最も高かった事項は、第4回調査と第5回調査では今回と同様に「健康状況」、それ以外の調査では「家族関係」となっています。

また、前回調査との比較では、「健康状況」が「家族関係」と入れ替わり、「就業状況」が高い方から数えて5番目から7番目に下がりました。

図表 2-1-4 幸福感を判断する際に重視した事項〔複数回答〕



➤ 幸福感を判断する際に重視した事項（属性別特徴）

図表 2-1-5 幸福感を判断する際に重視した事項

(全体の上位7項目の属性別)

地域別では、全ての地域で「健康状況」がそれぞれ最も高くなっています。

性別では、男女ともに「健康状況」が最も高くなっています。

年齢別では、50歳代以上は「健康状況」が、40歳代以下は「家族関係」が、それぞれ最も高くなっています。18歳から20歳代と40歳代では、「健康状況」と「家計の状況」が同じ割合で高くなっています。

主な職業別では、農林水産業、パート・バイト・派遣、その他の職業、学生、無職は「健康状況」が最も高く、自営業・自由業、正規職員、専業主婦・主夫は「家族関係」が最も高くなっています。

学生は、「健康状況」と「友人関係」が同じ割合で最も高くなっています。

配偶関係別では、未婚と離別・死別は「健康状況」が、有配偶は「家族関係」がそれぞれ最も高くなっています。

世帯類型別では、単独世帯、一世代世帯は「健康状況」が、二世代世帯、三世代世帯は「家族関係」がそれぞれ最も高くなっています。

世帯収入別では、500万円未満は「健康状況」が最も高く、500万円以上では「家族関係」が最も高くなっています。

	健康状況	家族関係	家計の状況	精神的ゆとり	自由な時間	友人関係	就業状況	
全体	68.2	65.5	57.8	38.7	35.9	32.0	27.9	
地域	北勢	68.2	66.7	57.9	37.8	35.7	30.4	29.4
	伊賀	71.6	65.8	57.6	40.5	37.1	34.0	22.7
	中南勢	69.1	66.0	60.6	41.8	34.0	31.3	28.3
	伊勢志摩	64.7	62.5	55.4	36.2	37.0	37.0	29.2
	東紀州	66.9	57.4	49.1	33.1	39.1	36.1	16.0
性別	男性	67.3	64.4	57.9	36.1	33.4	26.9	29.1
	女性	69.7	67.2	58.0	42.6	39.1	38.2	26.7
年齢	18歳から20歳代	54.6	62.0	54.6	48.1	45.4	47.2	34.3
	30歳代	56.9	73.1	57.2	37.1	33.4	31.7	37.7
	40歳代	63.5	68.6	63.5	39.0	29.7	28.4	44.4
	50歳代	69.4	66.5	62.7	38.5	27.9	27.4	42.3
	60歳代	71.3	67.1	60.6	39.4	33.3	28.7	28.7
	70歳以上	70.5	61.6	51.2	38.1	44.5	37.3	10.1
主な職業	農林水産業	72.4	70.7	54.5	38.2	47.2	36.6	23.6
	自営業・自由業	63.3	64.1	57.2	35.4	28.5	31.7	33.1
	正規職員	64.8	70.2	62.5	36.3	27.3	26.1	48.5
	パート・バイト・派遣	70.3	66.7	60.6	41.8	33.3	31.6	42.1
	その他の職業	69.1	58.3	61.4	36.8	31.8	33.2	30.0
	学生	61.9	57.1	47.6	52.4	57.1	61.9	19.0
	専業主婦・主夫	72.6	74.8	62.2	45.1	42.1	40.4	12.0
配偶関係	無職	70.5	59.3	51.0	38.9	44.8	32.5	6.6
	未婚	61.3	41.0	53.6	43.0	41.9	36.7	34.5
世帯類型	有配偶	69.8	71.3	60.6	38.3	33.3	29.9	29.3
	離別・死別	67.0	54.3	49.7	40.2	43.4	38.1	19.6
	単独世帯	65.3	41.8	49.9	40.4	45.3	39.5	16.9
	一世代世帯	69.7	68.0	59.1	37.9	37.4	31.2	23.0
世帯収入	二世帯世帯	67.9	69.9	60.4	40.1	32.1	30.0	35.5
	三世帯世帯	69.7	75.4	56.9	37.2	31.0	32.3	30.5
	100万円未満	65.8	51.9	45.9	32.9	45.0	31.6	14.3
	～200万円未満	64.3	52.0	48.0	38.4	39.4	34.3	16.1
	～300万円未満	66.8	60.5	54.5	37.2	42.3	30.9	17.2
	～400万円未満	71.6	68.7	58.6	40.8	37.4	33.0	21.6
	～500万円未満	67.1	64.0	59.3	38.9	30.5	28.6	29.5
	～600万円未満	72.3	72.7	64.4	40.6	33.9	33.3	35.8
	～800万円未満	66.3	70.8	64.7	37.1	29.7	28.6	36.9
～1,000万円未満	71.1	74.7	67.3	40.3	30.4	37.5	47.8	
1,000万円以上	71.4	80.0	71.7	40.0	28.8	30.0	47.6	

※凡例： **第1位** **第2位** **第3位**

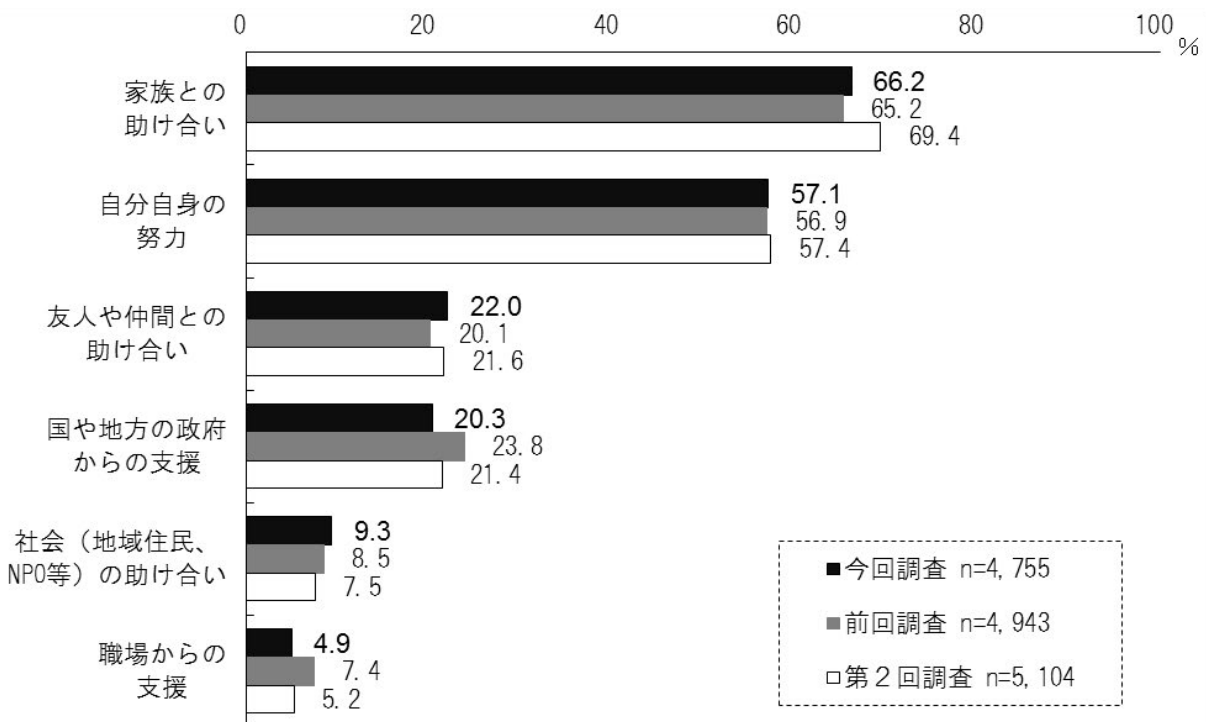
**問1-3** あなたの幸福感を高めるために有効な手立ては何ですか。次の中からあなたのお考えにもっとも近いものに2つまで○をつけてください。(○は2つまで)

➤ 幸福感を高める手立て

幸福感を高める手立てについては、「家族との助け合い」が66.2%で最も高く、次いで、「自分自身の努力」(57.1%)、「友人や仲間との助け合い」(22.0%)となっています。

前回調査との比較では、「友人や仲間との助け合い」が1.9ポイント、「家族との助け合い」が1.0ポイント、「社会(地域住民、NPO等)の助け合い」が0.8ポイント、「自分自身の努力」が0.2ポイントそれぞれ高く、「国や地方の政府からの支援」が3.5ポイント、「職場からの支援」が2.5ポイントそれぞれ低くなっています。

図表 2-1-6 幸福感を高める手立て〔2つまでの複数回答〕



➤ 幸福感を高める手立て（属性別特徴）

地域別では、全ての地域で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。

性別では、男女とも「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。

年齢別では、18歳から20歳代を除くすべての層で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。18歳から20歳代は「自分自身の努力」、「家族との助け合い」の順に高くなっています。

主な職業別に見ると、農林水産業、正規職員、パート・バイト・派遣、専業主婦・主夫、無職で「家族との助け合い」が、自営業・自由業、その他の職業、学生で「自分自身の努力」がそれぞれ最も高くなっています。

配偶関係別では、有配偶は「家族との助け合い」が最も高く、未婚と離別・死別は「自分自身の努力」が最も高くなっています。

世帯類型別では、単独世帯を除く全ての世帯類型で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。単独世帯では「自分自身の努力」が最も高くなっています。

世帯収入別では、200万円以上で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。200万円未満では「自分自身の努力」、「家族との助け合い」の順に高くなっています。

図表 2-1-7 幸福感を高める手立て（属性別）

	い家族との助け合い	自分自身の努力	助友 け人 や仲 間の の	国 から の支 援 や 地 方 の 政 府	の 民、 社 会 （ N P O 等 ） の 地 域 住 民	職 場 か ら の 支 援	
全体	66.2	57.1	22.0	20.3	9.3	4.9	
地域	北勢	69.4	56.6	20.7	19.8	9.1	4.6
	伊賀	61.4	58.6	23.8	20.8	13.0	4.3
	中南勢	64.7	57.3	21.6	21.0	8.4	5.4
	伊勢志摩	62.6	58.3	25.8	19.3	8.9	5.3
	東紀州	58.0	50.3	28.7	25.5	10.2	5.7
性別	男性	65.8	59.4	18.8	20.1	10.1	5.2
	女性	66.9	54.4	26.1	20.7	8.2	4.4
年齢	18歳から20歳代	51.0	58.8	31.4	13.7	6.9	11.8
	30歳代	69.4	44.4	21.3	22.5	5.7	13.5
	40歳代	66.8	52.2	20.4	21.2	6.2	11.2
	50歳代	64.5	57.7	20.5	22.2	7.2	7.8
	60歳代	66.6	59.5	19.2	19.7	11.3	2.0
	70歳以上	67.3	59.7	25.1	19.2	11.2	0.6
主な職業	農林水産業	73.3	59.5	25.0	13.8	16.4	-
	自営業・自由業	63.2	63.9	20.1	17.8	10.0	2.0
	正規職員	67.9	54.7	18.4	18.5	7.0	12.0
	パート・バイト・派遣	69.5	53.4	21.2	22.6	7.3	6.6
	その他の職業	61.3	64.6	24.5	18.9	7.5	6.6
	学生	52.4	81.0	38.1	9.5	-	-
	専業主婦・主夫	72.5	53.8	26.7	17.1	10.4	1.2
配偶関係	無職	62.7	57.9	23.8	23.9	11.4	0.7
	未婚	34.7	59.2	29.8	23.0	11.0	11.0
	有配偶	73.6	56.6	19.2	18.9	8.6	4.3
	離別・死別	51.6	58.5	30.2	25.3	10.2	4.2
世帯類型	単独世帯	39.1	64.1	33.0	23.7	11.1	3.9
	一世代世帯	71.0	59.3	19.3	17.8	9.2	2.2
	二世代世帯	68.5	53.9	21.4	21.9	8.8	7.5
	三世代世帯	79.1	51.9	20.7	17.7	8.8	4.4
世帯収入	100万円未満	55.0	60.1	20.6	26.6	7.3	2.8
	～200万円未満	52.4	55.6	28.4	27.1	10.4	2.7
	～300万円未満	64.0	55.7	24.8	21.9	9.5	3.5
	～400万円未満	66.5	57.3	20.4	22.2	12.5	4.1
	～500万円未満	65.1	59.7	19.2	18.8	8.5	5.2
	～600万円未満	73.5	58.6	19.2	20.0	7.1	3.9
	～800万円未満	74.4	52.5	19.8	17.0	8.6	8.8
	～1,000万円未満	73.5	55.6	23.0	16.3	6.1	8.0
	1,000万円以上	75.4	61.2	17.0	12.8	10.0	5.8

※凡例： **第1位** **第2位** **第3位**

